

視 察 報 告 書

報告者氏名 菅 野 浩 孝 ㊟

1. 委員会名

総務委員会

2. 期 日 平成26年1月21日（月）～同22日（火）1泊2日

3. 視察地及び調査事項

- （1）京都府長岡京市 PFI手法を用いた小中学校教室等への空調機器設置について
- （2）愛知県豊橋市 シティプロモーションと「ええじゃないか豊橋」について

4. 所感等

- （1）京都府長岡京市 PFI手法を用いた小中学校教室等への空調機器設置について

長岡京市は、京都府の西南部に位置する約80,000人（平成26年2月時点）の都市である。京都市や大阪市への交通アクセスが整備されており、また「環境の都」長岡京市環境都市宣言を平成21年度に宣言しているなど、市民にとっては住みやすいまちとして位置づけられる。

長岡京市では、近年の猛暑対策として、PFI（Private Finance Initiative）手法を用いた「長岡京市小中学校普通教室等空気調和環境提供等事業」を平成20年8月より、全国に先駆け実施している。一般的にPFI事業は、民間経営のノウハウや技術を活用できるだけでなく、効率的なリスク管理、コストの削減なども期待され、低価格で質のよい公共サービスの提供や民間企業の参入による地域経済の活性化、官民パートナーシップの形成が可能となるとされている。

長岡京市の本事業におけるPFI事業者の選定は、京都府立大学からの協力を得、平成19年度に実施している。空調機の導入は、教育環境の改善・学習意欲の向上も期待したものである。空調機の導入により、環境教育の出前講座の実施や環境に関わる取り組みを小学生が自主的に実践するなど、大きな効果を発揮している。

民間の技術的能力等を最大限に活用するPFI手法を活用した空調設備の設置により子どもたちの安全で快適な教育環境を実現させ、学校間の教育環境の格差を生じさせないよう、流山市でも今後検討することに努めていきたい。

(2) 愛知県豊橋市 シティプロモーションと「ええじゃないか豊橋」について

豊橋市は、愛知県の南東部に位置し、静岡県と接している人口約 38 万人（平成 25 年 4 月 1 日時点）の都市である。豊かな自然と温暖な気候に恵まれた都市としても有名である。

豊橋市では、平成 21 年度に「豊橋市シティプロモーション戦略ビジョン」を策定している。平成 22 年度は「シティプロモーション元年」とし、シティプロモーション推進計画「ええじゃないか豊橋推進計画」も策定した。豊橋市のイメージアップと認知度を高めるため、市民、事業者、大学、行政などが一体となり、戦略かつ効果的なシティプロモーション活動を地域内外において取り組んでいる。現在、「手筒花火」、「総合動植物公園のんほいパーク」、「路面電車」、「とよはし食文化」が豊橋市のプロモーションの核として展開されているが、今後核となる可能性のあるコンテンツについても検討している。シティプロモーションとして核となる可能性のあるコンテンツを発掘し続ける点は、包括的な側面から豊橋市の認知度を高める一助になるものとする。

昨今、過疎化が進み、地方の自治体はその存続を念頭にさまざまな形でアプローチを展開してきている。流山市は都内への交通アクセスもよく、また豊富な緑にも恵まれ、住みやすいまちではある。しかし現在の状況に満足するのではなく、よりよい進化をし続けるためにも流山市の魅力を発掘し続けることは重要なことであるとする。さまざまなステークホルダーと連携をとり、「まち」としての魅力を発掘しながらそれを定期的に情報発信できるよう今後検討していきたい。